

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月15日(木)

事務事業		地籍調査事業		担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	48511	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり		根拠法令 個別計画等	国土調査法				
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		国土調査法に基づき、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界、面積等を正確に調査し、測量を行い、その結果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）に取りまとめ、その成果を法務局に登録する事業である。このことにより、土地の表示や権利の明確化に役立ち、土地の境界再現等が容易になるものである。								
目的 ※何のために		土地の表示や権利の明確化								
対象 ※誰・何を対象に		地籍調査対象区域内の土地								
手段 ※どのように		対象区域内の土地に関する資料収集、現地調査・立会い・測量、図面・資料作成、登記事務を行う。								
成果 ※何を求めるか		境界の復元や土地の権利関係を明確化することにより、公共事業の円滑化や境界紛争の未然防止などにつながる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	8	土木費	1	土木管理費	2	国土調査費	地籍調査事業	15,933,146
本事業の 主な業務		・計画準備							・	
		・地元説明会							・	
		・現地調査							・	
		・成果の閲覧							・	
		・一筆地調査							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		地籍調査事務	地籍調査事務	地籍調査事務			
事業費	予算（現額）	19,534,000	16,682,000	21,998,000	19,803,000		
	決算額	18,321,668	15,933,146	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	1,000	0	0	0		
	県支出金	9,067,500	7,258,500	9,975,000	6,872,000		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	9,253,168	8,674,646	12,023,000	12,931,000		
	総事業費試算	34,776,928	32,616,607	39,620,232	37,425,232		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	調査面積（累計）（調査計画面積 52.68 km ² ）		目標値	km ²	34.35	34.40	34.45	34.50	34.55	34.60
			実績値		33.48					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国土調査事業十箇年計画 / 実施済累計面積（事業着手面積）						
	実績値の算出式									
成果指標 1	調査進捗率		目標値	%	65.20	65.39	65.49	65.58	65.68	65.77
			実績値		63.55					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国土調査事業十箇年計画 / 調査実績値／調査計画						
	実績値の算出式									
成果指標 2	地籍明確率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			調査区域内の筆については、すべて登記を行うため、100％とする。 / 対象筆数／実施筆数						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	調査面積（累計）の目標値は下回っているが、県へ補助金の追加要望を行い、調査区域の拡大を行うことにより、年度当初に予定をしていた調査面積を上回る調査を完了することができ、目標値に近づくことが出来た。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	調査進捗率の目標値は下回っているが、年度当初に予定した業務については、遅滞なく実施することができ、調査区域の筆については全て登記を完了した。
			評価者 調査係長 門倉 孝

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	現地調査業務を請負った業者へ、その後の地図及び簿冊作成を委託することにより、コスト面の削減と現地調査業務の内容がスムーズに活用でき、履行期間の短縮が図られたため、効率的に執行できた。
			評価者 調査係長 門倉 孝

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地籍調査事業	担当課	道路管理課	担当係	調査係	管理番号	48511
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		調査面積の目標値に近づけるよう予算の範囲内で調査区域の拡大を図りながら、補助金の追加要望も行い、承認された事業を進めていることから、現状のまま継続とした。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

